



あきる野市生物多様性
地域連携保全活動計画

東京都あきる野市

市長あいさつ



あきる野市は、首都東京にありながら、豊かな水と緑に恵まれた心休まるふるさとです。本市の多様な自然環境は、四季折々に景色を変える山々や美しい自然を楽しませてくれる秋川渓谷など、魅力あふれる観光資源であるとともに、様々な動植物の貴重な生息・生育場所にもなっています。

しかし、近年、私たちを取り巻く環境は日々変化しており、その変化に耐えきれず、多くの動植物が生活の場を追われています。このため、生物多様性の維持・向上に向けた取組が急務となっています。

昨年10月、あきる野市長に就任し、所信表明として6つの基本政策を掲げました。その一つである「産業の振興と環境都市あきる野」に向けた取組では、環境都市あきる野を更に前進させるため、「生物多様性あきる野戦略」に掲げる「望ましい姿」の実現に向けて、様々な取組を積極的に進めていくこととしました。

このたび策定しました「あきる野市生物多様性地域連携保全活動計画」は、戦略の実施計画として、本市の豊かな生物多様性を維持・向上させるとともに、その活用を図るための具体的な取組を示すものであります。また、本計画は、東京都内ではじめて策定された「地域連携保全活動計画」であり、市民の皆さんをはじめとする多様な主体との連携により、戦略に掲げる「望ましい姿」の実現を目指すものです。

市では、すでに「郷土の恵みの森構想」に基づき、森を中心とした様々な取組を進めていますが、本計画の策定により、これらの取組が更に前進するものと確信しています。そして、「市民と協働のまちづくり」を推進するための代表的な取組の一つとなることを期待しています。

未来の子ども達に、本市の豊かな自然環境と生物多様性に富んだ「東京のふるさと あきる野」の恵みを引き継いでいけるよう、一步一步着実に歩みを進めていきますので、市民や事業者の皆さんのご理解ご協力をお願いいたします。

平成28年3月

東京都あきる野市長 澤井敏和

目 次

I 策定の背景	1
1 生物多様性とは	1
2 これまでの歩み	1
(1) 「生物多様性あきる野戦略」とは	2
(2) 「あきる野市郷土の恵みの森構想」とは	4
(3) 「あきる野市郷土の恵みの森づくり基本計画」とは	4
3 「あきる野市郷土の恵みの森づくり基本計画」の評価	5
(1) 森の健全性	5
(2) 生物多様性	7
(3) 絶滅危惧種	8
(4) 特定外来生物など	8
4 あきる野市生物多様性地域連携保全活動計画	9
II 基本的な考え方	10
1 目的	10
2 計画期間	10
3 位置付け	10
4 性格と考え方	11
5 計画区域	12
6 目標	13
III 森をはじめとする生物多様性の現状と課題	15
1 生物多様性の現状	15
(1) 地形・地質（地層）	15
(2) 植生・植物	16
(3) 動物	17
2 生物多様性の課題	18
(1) 生息・生育場所の維持・回復	18
(2) 有害鳥獣・外来種対策	18
IV 地域連携保全活動の概要	19
1 望ましい姿の実現に向けた取組	19
(1) 生物多様性あきる野戦略における施策	19
(2) 地域連携保全活動計画と施策の関連性	20

2	主な地域連携保全活動	21
(1)	森林レンジャーあきる野の取組	21
(2)	昔道・尾根道補修等事業と景観整備事業	23
(3)	ホタルの里づくり推進事業等	26
(4)	有害鳥獣・外来種の防除活動	27
(5)	生物調査・自然環境調査	28
(6)	環境教育・体験学習	29
(7)	秋川流域ジオパーク構想の推進	30
(8)	アニマルサンクチュアリ活動	32
(9)	多様な主体の連携による森づくり・地域づくり	33
V	地域別の現状及び地域連携保全活動の実施内容	35
1	上養沢地域	36
(1)	現状と取組の方向性	36
(2)	取組(活動)	37
2	戸倉・小宮地域	42
(1)	現状と取組の方向性	42
(2)	取組(活動)	43
3	盆堀地域	54
(1)	現状と取組の方向性	54
(2)	取組(活動)	55
4	深沢地域	61
(1)	現状と取組の方向性	61
(2)	取組(活動)	62
5	五日市・増戸地域	70
(1)	現状と取組の方向性	70
(2)	取組(活動)	71
6	秋川丘陵地域	78
(1)	現状と取組の方向性	78
(2)	取組(活動)	79
7	秋留台地地域	85
(1)	現状と取組の方向性	85
(2)	取組(活動)	86
8	草花丘陵地域	90
(1)	現状と取組の方向性	90
(2)	取組(活動)	91
VI	進行管理等について	98
1	進行管理の手法	98
2	計画の見直し	98
3	地域連携保全活動の見直し	99